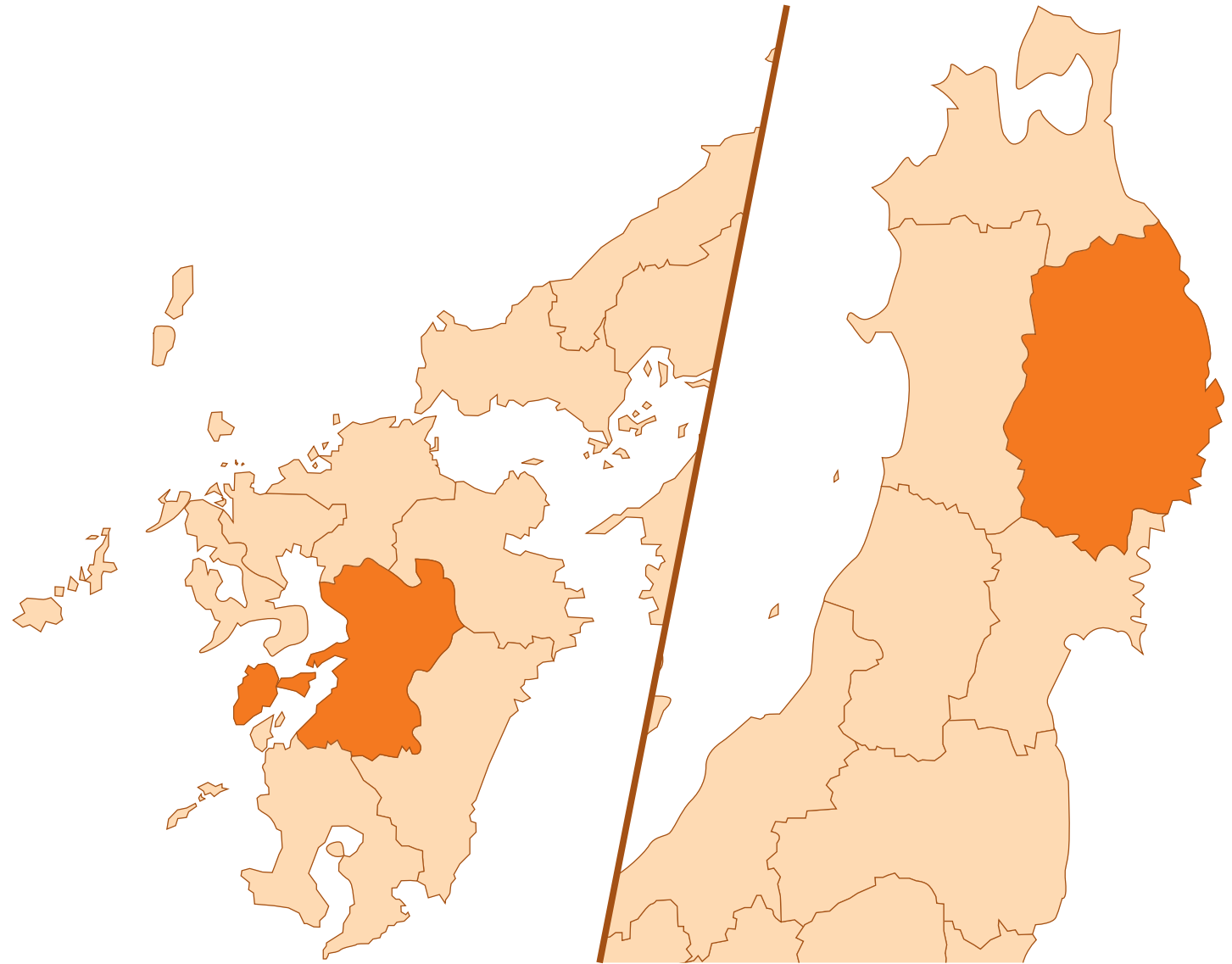


第2部 (熊本地震他)



平成 28 年熊本地震

区画整理

令和元年東日本台風

用地取得

令和 2 年 7 月豪雨

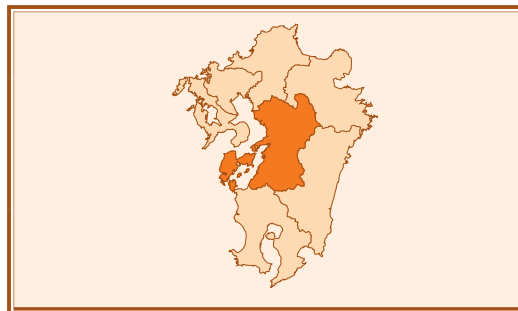
道路・河川等

平成28年熊本地震

熊本県

県央広域本部 土木部
益城復興事務所 区画整理工務課

須藤 和哉（都市整備局）



派遣先部署の業務概要

熊本県県央広域本部は、政令指定都市である熊本市と、平成29年度より上益城地域の嘉島町・益城町・御船町・甲佐町の一部業務を管轄区域としている。

【管内概要図】



土木部は、総務課、技術管理課、景観建築課、用地課、工務管理課及び益城復興事務所で構成されており、私は益城復興事務所に今年（2022年）度から着任し勤務している。

益城復興事務所は、平成28年熊本地震での倒壊家屋による交通機能の喪失や交通混雑等の課題を解消するため、熊本中心市街地と益城町市街地とを結ぶ主要幹線道路である都市計画道路益城中央線の拡幅整備事業（4車線化）と、甚大な被害を受けた益城町市街地の緊急かつ健全な早期復興を図るため益城中央被災市街地復興土地区画整理事業の施行を主要事業として設置された。（平成30年4月2日開所）

【主要事業】



都市計画道路益城中央線事業（4車線化）

- ◆延長 約3.8 km
- ◆総事業費 約195億円
- ◆施行期間 H28年度～R7年度

益城中央被災市街地復興土地区画整理事業

- ◆面積 約28.3ha
- ◆事業費 約140億円
- ◆施行期間 H30年度～R9年度

【益城復興事務所組織】

所長（土木部副部長）、次長

- ・総務課（2名）
- ・街路用地課（8名）
- ・街路工務課（8名）……………うち派遣職員（熊本市1名）
- ・区画整理用地課（8名）……うち派遣職員（益城町1名）
- ・区画整理工務課（20名）…うち派遣職員（東京都、愛知県春日井市、同安城市及び同小牧市の各1名）
（益城町4名）※UR都市機構2名（技術支援協定による）

担当した業務概要

私の配属先は区画整理工務課の区画整理工務班で、担当業務は、事業計画及び実施計画に関すること、土地区画整理法第76条（建築行為等の制限）や、環境調査（土壌汚染等）に関することのほか、土地区画整理事業全般（換地設計等）における技術的支援である。

業務の遂行に当たって、苦労したこと、工夫したこと

今年度は、事業期間の中期にあり、換地処分の準備に取り組むための重要な時期に差し掛かっている。一方で、仮設住宅入居者の一日でも早い再建を実現させるという観点から、街区の一部であっても、再建可能なところから工事に着手するため、結果的に換地設計の基準から逸脱した状況で仮換地を指定しているなどの課題が山積している。

限られた事業期間内で、これらの課題を整理し解決することに苦慮している。

	前震	本震
発生日時	平成28年4月14日 21時26分	平成28年4月16日 1時25分
震央地名	熊本県熊本地方	同左
マグニチュード	6.5	7.3
	震度7 益城町	益城町、西原村
震度6弱以上を観測した自治体	震度6強	熊本市、菊池市、宇土市、宇城市、合志市、大津町、嘉島町、南阿蘇村
	震度6弱	熊本市、玉名市、宇城市、八代市、玉名市、天草市、上天草市、阿蘇市、和水町、菊陽町、御船町、美里町、山都町、氷川町
		熊本市、玉名市、宇城市、八代市、玉名市、天草市、上天草市、阿蘇市、和水町、菊陽町、御船町、美里町、山都町、氷川町

平成28年熊本地震の概要



倒壊した建物



震災前



震災後

平成28年熊本地震

印象的なエピソード

私は熊本派遣が2回目となるが、4年前の今回は事業認可、事業計画の決定、第1回の仮換地指定や工事の着工式など、まさにこれから本格的な復興へ着手するという時期であった。

現在の事業進捗状況は、仮換地指定率が画地ベースで約7割、区画整理工事の着手も約6割となり、順次、仮換地の引継ぎ（宅地の引渡し）を行っており、権利者の自宅再建が進んでいる。

また、災害公営住宅（70戸）や仮設店舗（5戸）も整備され、令和5年度には役場新庁舎が完成するなど、着実に復興に向かっていくと実感することができた。

【進捗状況図（令和4年12月現在）】



手前：仮設店舗 奥：災害公営住宅



再建が完了した住宅

今後の都政に活かせること・活かしたいこと

平成28年熊本地震から7年を経過しようとしている現在、復興は確実に前進しているが、未だ道半ばである。

これまでの復興支援業務で強く感じたことは、被災された権利者の皆様に、一日でも早く安全な土地をお返しし、生活再建を実現していただくため、常に時間的緊迫性をもって取り組むことである。

被災地に赴かなければ知る由もなかった山積された課題とその解決手法等について実務を通じて経験したことで、少なからず復興土地区画整理事業における知見やノウハウを獲得することができたのではないかと感じている。

この貴重な経験をもとに、今後、東京に深刻な被害をもたらすことが予想される首都直下地震等の災害対策に活かしたい。



完全復旧した熊本城天守閣

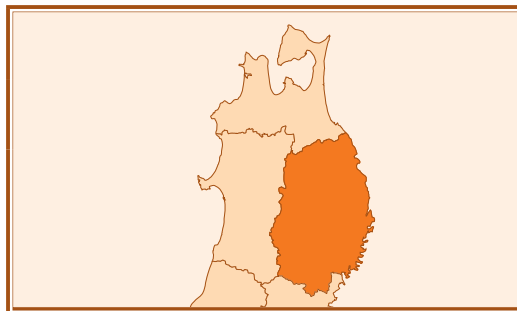


令和元年東日本台風

岩手県

沿岸広域振興局 土木部 用地課

金井 慎太郎（環境局）



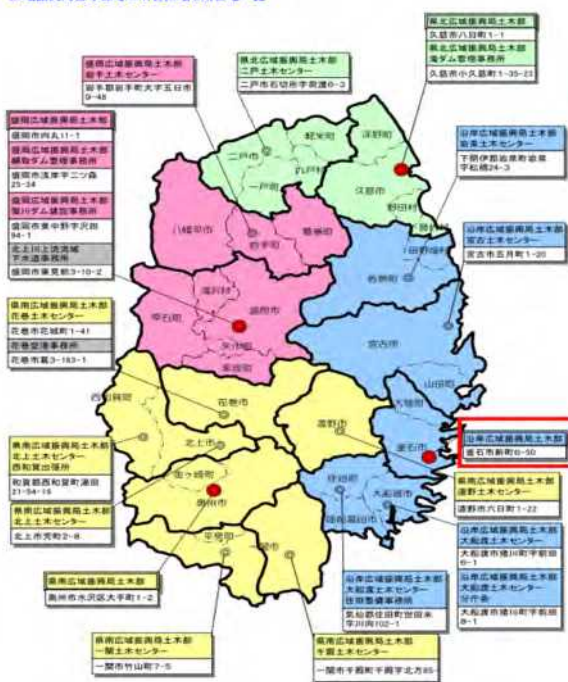
派遣先部署の業務概要（組織の目的・規模・内容等）

組織の目的

岩手県沿岸の釜石市に位置する沿岸広域振興局は、釜石市を含む沿岸部4市4町1村（田野畑村、岩泉町、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、住田町、大船渡市及び陸前高田市）を管轄している岩手県庁の出先機関です。管轄地域の総面積は4,204.88km²（参考：東京都の面積2,194.05km²）で、県全体の27.5%を占めています。局内には県税、保健福祉、農林、水産、土木等の様々な部署があり、幅広い業務を担当しています。

私が所属している土木部用地課では、釜石市と大槌町における道路・河川等の整備や災害復旧のための用地取得・補償業務に取り組んでいます。

広域振興局土木部等の所管区域と所在地一覧



組織について（土木部）

（令和4年4月1日時点）

組織	業務内容	人数
部長		1名
副部長		1名
企画調整グループ	土木企画、建設リサイクル	2名
管理課	庶務、委託契約、建設業許可、道路・河川・港湾の占用許可	6名
用地課	土地の取得・補償	4名 (都派遣1名)
道路整備課	道路建設工事、道路維持・修繕	5名
河川港湾課	河川・港湾維持修繕、日向ダム、海岸・水門陸間	9名
復興まちづくり課	砂防・急傾斜、土砂災害防止法	6名
建築指導課	建築物の審査・検査・指導・取締り	2名
		合計 36名

令和元年東日本台風

派遣者自身が担当した業務概要

令和元年10月の台風19号（令和元年東日本台風）により釜石市及び大槌町内において、土砂災害による家屋の流出や道路の寸断の被害が発生したため、今後の被害を防ぐための砂防堰堤を整備するために必要な事業用地の取得及び補償業務を行いました。

【主な担当箇所】

- ・尾崎白浜の沢のうち2箇所
- ・佐須の沢のうち1箇所
- ・平田の沢のうち1箇所
- ・吉里吉里の沢のうち1箇所



<大量の土砂と流木が民家を襲った様子>

砂防堰堤整備の様子（尾崎白浜の沢）



令和4年8月



令和4年10月



令和4年11月



令和4年12月



砂防堰堤完成イメージ（尾崎白浜の沢）

業務の遂行に当たって、苦労したこと、工夫したこと

業務の遂行に当たって苦労したことは、限られた期限内で地権者の方と契約をしなければいけなかったことです。

令和元年東日本台風

私は、4月に配属された際に用地業務は初心者であった上に、岩手県の業務の進め方等が一切分からない状態でした。しかし、担当箇所の一部の工事着手が7月に予定されており、それまでに地権者と交渉の上、事業用地の買取りの契約を完了させる必要がありました。

しかし、担当箇所の地権者数は40人以上おり、課内で協議した結果、個別に訪問して契約していたのでは間に合わないとの判断から、契約会を4日間開催して契約を行うこととなりました。

契約会の開催に当たっては、会場の確保、地権者への開催通知送付、契約書の用意と限られた時間の中での準備が多くありました。しかし、基本的な事項が分からない上に時間的な焦りもあり、失敗の連続で岩手県のために何もできない自分に対して憤りを覚えました。そんな時に、職場の方々が積極的に声をかけてくださり、多くの手助けをしていただいたこともあり、なんとか契約会開催にこぎつけることができました。

契約会においては、当初私は契約に関する説明ができなかったため、職場の方々の説明に同席させていただいて学び、空き時間を利用して説明の練習をしました。また、少しでも早く戦力になるため、積極的に自分から地権者に説明をして経験を積みました。さらに、私が説明する際には職場の方々に同席していただき、説明が不足している点や改善点などについてアドバイスをいただきました。反省点を次に生かすことで、契約会が終わる頃には一連の説明ができるようになりました。

周囲の方々の多大なるお力添えもあり、多くの地権者の方から「災害対策の公共事業に必要なのだから、協力します。」という御理解の言葉を多くいただき、予定していた大部分の方々と契約ができました。苦労した成果もあり、契約会終了後の自宅への帰り道では思わず鼻歌を歌ってしまうほど嬉しく、達成感を感じたことは忘れることはできません。

時間がない中で、また自身が初心者という中で、とにかく岩手県の方々の力になるには何をすべきかを常に考え行動することが大切だと、この経験から学ぶことができ、その後の業務にも大きく生かすことができました。



<執務室にて>



<地権者と測量業者と現地の確認中>

印象的なエピソード（うれしかったこと、やりがいを感じられたこと等）

色々な場所で東京都からの派遣職員であることを伝えると、岩手県職員や地元の方々に「東京都職員さんには震災発生後から派遣職員として応援に来てもらい助かっています。」と感謝の言葉をいただけることが印象的でした。

感謝の言葉をいただくことで、これまで派遣された諸先輩方がいかに岩手県の復興のために尽力してきたかを知り、そんな方々から受け継いだバトンを私もつないでいけるようにと身を引き締めて業務に取り組むことができました。

また、「東京に戻ってもいつでも岩手に帰ってきな。」と書いていただけた際には、第二の故郷ができたみたいで岩手県の方々の温かさを感じ、大好きな岩手県にまた戻って来たいと思いました。

今後の都政に活かせること・活かしたいこと

岩手県では、「いいね！アワード投票」という各部署が行っている業務の効率化や工夫、斬新な取組等を職員が評価して「いいね」をする投票があります。

良い取組だと感じた点としては、①部局を横断して良い事例を共有している、②「いいね」が取り組んだ部署の職員のモチベーションアップにつながる、③他の部署でも良い取組を取り入れることで効率化につながる、④職員の中に業務効率化への意識が醸成される等が見込まれる点です。

第二の故郷岩手の紹介

【田野畑村の名勝地「北山崎」】高さ200mの断崖にダイナミックな海岸線が約8kmにもわたり続きます。晴れた日は水平線がくっきりと見え、雄大な自然を感じられました！



【宮古市の名物「瓶ドン」】

瓶の中に海鮮が詰まっていて鮮やかな見た目に心躍り、盛り付けをする楽しみもありました。

もちろん、新鮮な海鮮に舌鼓！

※お取り寄せもできるのでこの体験を皆さんも一度お試しあれ

岩手県の観光地を巡り、おいしい名産を食べることが、岩手県の支援になります！！
皆さんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか

東京都においては、1局が大きいためどうしても局だけで情報が留まってしまうことがある。良い取組については、他局にも積極的に共有して横のつながりを活発にするとともに、業務の効率化や職員のモチベーション向上等の手段として取り入れてみることもよいのではないかと感じました。

東京都における防災、災害対策等に活用できる経験・感想

災害を身近なものとする啓発的な取組によって、防災に対する意識の向上を図っていくことが必要だと感じました。

岩手県の沿岸部の街には震災時の津波の高さを示す標示が多くの建物に刻まれています。また、被災時の教訓は伝承館や公園、図書館、飲食店に至るまで身近なところで目にする機会があり、日常生活の中で住民の方々が災害を意識する場面が多々あります。こういった、震災の怖さを忘れないための取組により、防災に対する意識も住民の方々が持つことができるため、東京都においても普段の生活の中で災害に対する意識付けをすることが大切だと思いました。

最後に、右も左も分からない私を温かく迎え入れていただいた岩手県職員の皆様及びこのような機会を与えていただき、快く送り出していただいた東京都職員の皆様に感謝申し上げます。岩手県の設備等ハード面での復興は概ね完了しておりますが、経済的な意味での復興は道半ばかと思えます。私もせっかくできた岩

手県とのつながりを大切にしていき、観光や岩手県産品の購買等色々な形で復興の力になっていければと思っています。ありがとうございました。



<釜石市役所に標示された津波到達地点>



<沿岸部の建物に多く見られる標示>



<お世話になった用地課の皆様>

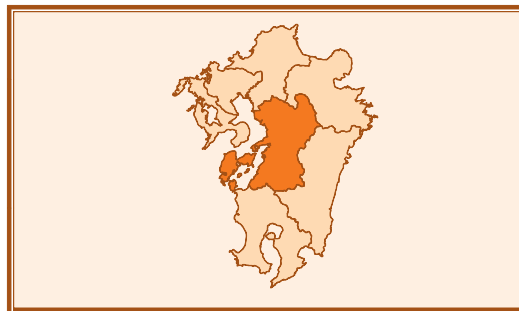
令和2年7月豪雨

熊本県

県南広域本部 芦北地域振興局

土木部 維持管理調整課

岩本 祐生（建設局）

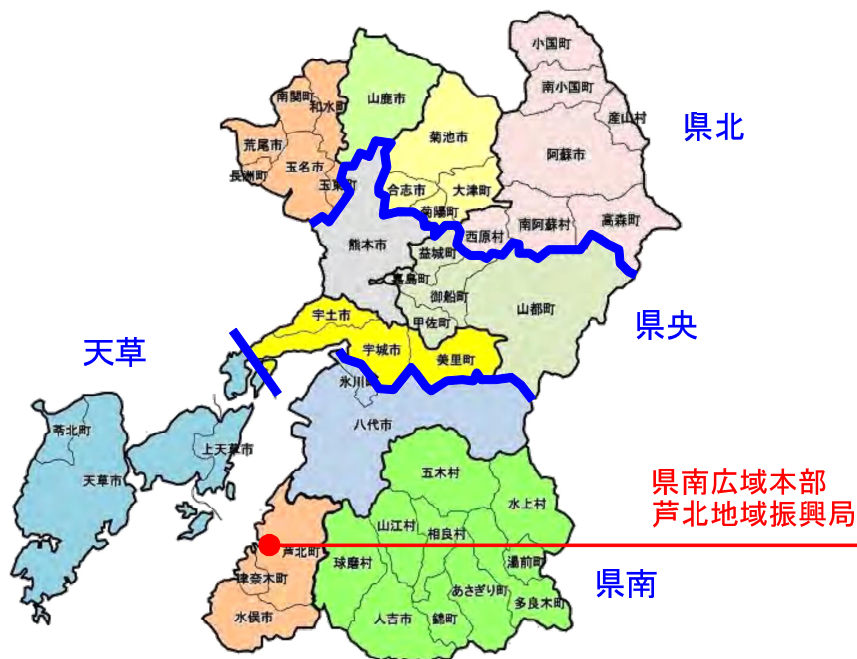


派遣先部署の業務概要（組織の目的・規模・内容等）

〈所属部署の概要〉

芦北地域振興局は、県内で県央・県北・県南・天草の4つに分掌される広域本部のうち県南広域本部に属し、県内に8つある振興局のうちの一つである。所管する葦北郡芦北町、津奈木町、水俣市の1市2町は、計431km²で県面積の5.8%にあたり、東京都八王子市と西多摩郡奥多摩町を合わせた面積（412km²）に近い。

土木部維持管理調整課では、管内の道路・河川等のパトロール、施設点検、維持修繕のほか、災害防除や交通安全施設整備、サイクルツーリズム関連事業等を行っている。配属先の維持調整班は、班長1名、土木職担当3名（うち東京都1名）の計4名体制で、通常業務のほか主に道路の災害復旧業務にあっている。



〈所属部署での災害対応状況〉

気候変動の影響によって全国的に洪水発生危険度が高まっている状況の中、令和2年7月豪雨災害に見舞われた。梅雨前線が九州付近に停滞し多数の線状降水帯が観測され、7月4日未明から朝にかけて、芦北町田浦（県田浦観測所）で最大24時間694mm、時間最大129mmの雨を降らせるなど、県南を含む多くの地点で観測史上1位の降水量を記録した。一級河川の球磨川や佐敷川に流れ込んだ大量の雨は氾濫を起こし、各地で土砂崩れも多数発生した。この豪雨で67名（うち災害関連死者2名）の尊い命が失われ、未だ2名の方が行方不明となっている。県内の被害総額5,222億円（令和3年7月時点）は、昭和以降に発生した災害のうち熊本地震に次ぐ被害額である。

芦北地域振興局管内の土木施設の被災箇所は県工事分として計345件（約85億円）を数える。年内に災害査定決定を受けるとともに、優先度を考慮して順次復旧工事を進め、令和4年12月末時点で約8割の件数が契約済み、5割弱が竣工している。

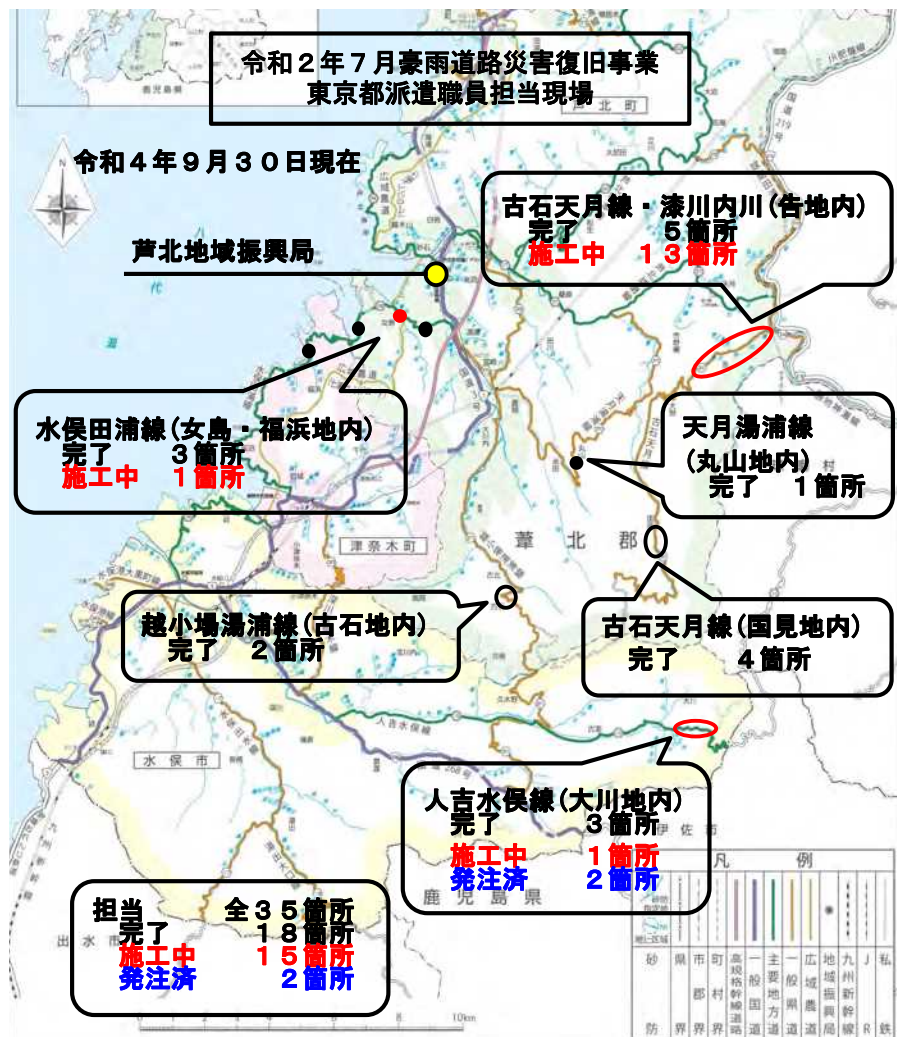


浸水芦北地域振興局と派遣時の住宅は佐敷川沿いの河口付近に位置し、範囲に含まれている。
 職場と住宅は玄関が嵩上げされ床上浸水を免れたが、駐車場の車は多数が水没し全損となった。
 ※図は熊本県HP「令和2年7月豪雨被災状況【速報版】」（熊本県土木部監理課）より抜粋・加工。

派遣者自身が担当した業務概要

〈道路災害復旧事業の工事発注・設計変更〉

1年11か月の派遣期間（令和2年11月～令和4年9月）において、管内の道路災害92件のうち、35件の被災箇所を担当した。令和4年9月末時点での進捗は、復旧完了18件、施工中15件、発注済2件である。早期復旧に向け、部署内及び受注者と緊密に連携し、災害復旧を着実に進めた。



令和2年7月豪雨

業務の遂行に当たって、苦労したこと、工夫したこと

〈増破・新規災害の発生〉

令和4年7月9日、担当現場付近に局所的に時間最大100mmを超える雨が降った。これにより、令和2年7月豪雨災害の被災範囲が拡大したほか、現場に至る工事車両の通行経路である県道の兼用護岸が被災するなど、新規の災害が発生した。国交省への被災範囲の拡大（増破）及び新規災害の報告のため現地調査を行い、水位の低下後に仮復旧した。

この大雨以外にも大きな出水が何度かあった。夏場の出水期であっても災害復旧の進捗を図り、できる対策を講じつつ早期復旧に向け受発注者共に努めていたものの、天候による延期や手戻りにより工事が思うように進まず、もどかしさが募った。

一方、護岸がある程度立ち上がれば多少の増水には耐えることができるため、天気の中期予報を踏まえ、出水と出水の間を狙って集中的に人員を投入し施工を進めるなど、受注者とフォローアップ工程を度々検討し、その機に向けて準備した。その甲斐あり、少しずつではあるが着実に成果に結びついたことを実感している。



漆川内川が球磨川に合流する地点で崩落が発生した。令和4年災害として、国に災害申請を行った。河岸の浸食防止や県道機能の復旧のため、査定前に応急仮工事を実施。（一般県道331号古石天月線告地内）



令和2年7月、佐敷川中流部にて県道の路肩が崩壊。被災前は河岸形状に凹凸があった。今回復旧後は護岸法線を通すことで、水が安全に流れるように改善。（一般県道331号古石天月線国見地内）

印象的なエピソード（うれしかったこと、やりがいを感じられたこと等）

県の方々に県内外の名所を御案内いただき、土木遺産や伝統技術を目にしたときは感銘を受けた。

今後の都政に活かせること・活かしたいこと

災害派遣で目にした構造物の壊れ方を踏まえ、適切な設計・施工・維持管理に活かしていきたい。

東京都における防災、災害対策等に活用できる経験・感想

〈迅速な災害復旧に向けての準備、国による権限代行の活用〉

芦北地域振興局では、被災直後、速やかに道路啓開や応急工事を主導し、被災した約350箇所の災害査定を年内に完了している。その背景には、組織内や地元業者との緊密な連携をはじめ、令和2年5月の道路法改正後全国で初めて適用した国による権限代行の活用、災害派遣チームの迅速・計画的な配置など、緊急時に対応するための日頃の準備によるところが大きいと改めて思った。今後、この貴重な経験を都の職務の様々な場面で活かしていきたい。

最後に、公私共にお世話になった熊本県職員、香川県・山口県からの派遣職員、派遣生活を御支援いただいた都職員、お力添えいただいた皆さま方に、この場を借りて心から感謝申し上げます。



亀崎土木部長に派遣業務報告



職場から八代海方面「芦北大橋」を望む



芦北地域振興局土木部長、副部長、維持調整課長、班の上司・先輩方と私